

## 2023年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
32304	コミュニケーション能力開発 Developing Communication Skills	遠藤都	✓	専門	2	選択	1・2 後期

## 科目の概要

世の中は人間関係と評価で構成されている。この科目では、相手や周囲との良好な人間関係を築くために必要な知識やコミュニケーションスキルを身に付ける。様々なコミュニケーションを学び、それぞれのタイプ別にアプローチをはかり、良好な人間関係を育む。面接対応はコミュニケーションで成り立っている。話し方や聞き方を学び、印象アップを実践することは、社会人基礎力を身に付けていく力に繋がる。  
★NHK文化センター「魅せるイメージアップ会話術」講師、企業顧問、司会者目線で個性を表すプレゼンを習得する。学外活動で実際に培ったコミュニケーションを実践することで、社会人基礎力を身に付けていく。

学修内容	到達目標
① 面接を意識したコミュニケーションの適切なとりかたを学ぶ。 ② コミュニケーションロールプレイ（相手が意図していることを汲み取り、個性で表現ができるようになる） ③ コミュニケーションの種類（素質論、NLP、カラー診断）を学び、人の考え方、行動特性を理解する。	① 傾聴力、司会者技術（話し方のスキルとテクニック、場を読む力）を身につけることができる。 ② 面接時において力を発揮できるように感情のコントロールを身につけることができる。 ③ 人のタイプを知ることにより、処世術を身につけることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	自ら進んで挨拶や声がけをし、リーダーシップのあり方を考えている。
	働きかけ力	
	実行力	様々なコミュニケーションを学ぶことにより、よりその人が見えてくるので、その人の習性にあわせたコミュニケーション（伝え方や聴き方）をしている。
考え抜く力	課題発見力	プレゼン時のアドバイスを客観視することができ、修正する力を身に付ける。
	計画力	
	創造力	講義の中で固定観念に捉われることなく、自由な発想で考える力を身につけ、言葉で発したり、記述ができる。
チームで働く力	発信力	相手に聞きたいと思わせる発表（声量、スピード、視線、内容構成等）を考えて発表できる。
	傾聴力	話しの意図を掴む力を養成する。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

## テキスト及び参考文献

参考文献：美語研修® など  
「人生の道しるべ 堀江俊通著」

## 他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：ビジネス実務総論、キャリアデザイン  
資格との関連：ビジネス実務士

学修上の助言	受講生とのルール
レベルアップを個人が心がけてください。面接を意識した内容です。自分以外の人の良いところを学ぶこと、自分の良さを活かすことを常に意識して成長しましょう。また、常に自分は「どうありたいか」「目の前の人との関係性をどう築きたいか」など、礼節のある態度を必要とします。	授業で配布するプリントの予備は保管しません。自分の考えを言葉遣いを考えて話すことを心がけてください。プレゼンテーションの機会が多いので、特に話し方技術に対して努力をし、日々の自分磨きに励みましょう。礼節ある態度を要しますので、服装にも気をつけてください。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
	平常評価	小テスト	20	①	✓	
				②	✓	
				③	✓	
		レポート	20	①	✓	
				②	✓	
				③	✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		50	①	✓		
			②	✓		
			③	✓		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		
			②	✓		
			③	✓		
総合評価割合		100				

・授業の理解度を図るため小テストを行う。  
 ・コミュニケーションについての論述。  
 ・敬語表現、言葉の言い換えなどができているか。  
 ・小テストの点数の合算から評価する。

・校外活動の講義の意図をきみとれているか。  
 ・社会でのコミュニケーションの在り方を理解できたか。  
 ・講義の内容を理解できているか。  
 ・自身の考えも表現ができているか。

・聞き手を意識して話しているか。  
 ・魅力が伝わっているか。表現が豊かであるか。  
 ・適正な声量・明確な発音・発声ができるか。  
 ・言葉。遣いがきちんとできているか。  
 ・思いやりを感じられるか。  
 ・聞く態度はできているか。

(主体性)  
 ・自ら進んで挨拶や声かけし、リーダーシップのあり方を考えている。  
 (実行力)  
 ・様々なコミュニケーションを学ぶことにより、よりその人が見えてくるので、その人の習性に合わせたコミュニケーション（伝え方や聴き方）をしている。  
 (創造力)  
 ・講義の中で固定観念に捉われないこと、自由な発想で考える力を身につけ、言葉で発したり、記述ができる。  
 (発信力)  
 ・相手に聞きたいと思わせる発表（声量、スピード、視線、内容構成等）を考えて発表できる。  
 (傾聴力)  
 ・話し方の意図を掴む力を養成する。  
 (課題発見力)  
 ・客観視ができ、自分の課題を発見し、修正する力を身につける。  
 (規律性)  
 遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S (秀)</p> <p>①自分の魅力を駆使している。考えをまとめ、話し方のスキルを身につけ、しっかりしたプレゼンテーションができる。相手への働きかけ、言葉遣いがきちんとでき、気遣いを感じる話し手である。</p> <p>②傾聴し、理解する能力を身につけ、聴いた話を相手の気持ちを考えて伝えることができる。相手に答えやすい質問をして、相手が話すように働きかけている。相手をスッキリさせることができる。</p> <p>A (優)</p> <p>①自分の魅力を把握している。考えをまとめる力をつけ、話し方のスキルを身につけ、人前で恥ずかしがらず最後まで自信を持って話すことができる。言葉遣いがきちんとできている。</p> <p>②傾聴し、理解する能力を身につけ、聴いた話を相手の立場になって伝えることができる。話し手が「話してよかった」と思う満足感を得られる。</p>	<p>B (良)</p> <p>①自分の考えまとめることができ、話し方のスキルを二つ以上活用し、人前で最後まで話すことができる。言葉遣いができている。</p> <p>②相手の話を聴き、理解する能力を身につけ、聴いた話を人にわかりやすく伝えることができる。</p> <p>C (可)</p> <p>①自分の考えを助けを得ながらもまとめることができ、話し方のスキルを一つでも活用し、人前で話すことができる。言葉遣いに気をつけようと努力している。</p> <p>②相手の話を聴き、理解する能力を身につけ、聴いた話を人に伝えることができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	ガイダンス シラバス表記の授業の内容と評価の説明をする。 伝わる話し方：話し方レッスン 美語研修®より「感情のコントロール」自己紹介を各自行う	講義・プレゼンテーション 講義の趣旨の説明 発声・立ち居振る舞い・お辞儀レッスン 文章回答により、フィードバックを行う。	話し方の技術を理解する。 感情のコントロールの意味を理解する。 自己紹介の仕方がわかる。	(復習)講義のトレーニングを毎日行う。 感情のコントロールができるよう努力する。 (予習)コミュニケーションの種類を考えておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	確実に伝わる声の出し方・届け方 プレゼンテーション	講義・演習・プレゼン 授業終了時に授業内容についてまとめを行う。 発声・立ち居振る舞い・お辞儀レッスン 文章回答により、フィードバックを行う。	確実に伝わる話し方を理解する。 声の出し方・届け方の違いを理解する。	(復習)日常での話し方の実践。 (予習)自分の話し方の癖について家族や友人に聞く。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	印象管理 ・ディスカッション	講義・演習・グループワーク 授業終了時に授業内容についてまとめを行う。 発声・立ち居振る舞い・お辞儀レッスン 文章回答により、フィードバックを行う。	自分の抱いている印象と他人の抱いている印象のギャップの理解の差を縮める努力をしている。 ディスカッションでは、伝わる話し方を理解している。	(復習)講義の中での印象管理を考慮して生活を送る。 (予習)印象管理について調べておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	心理カラー診断/基本 コミュニケーションの取り方	講義・演習・グループワーク 授業終了時に授業内容についてまとめを行う。 発声・立ち居振る舞い・お辞儀レッスン 文章回答により、フィードバックを行う。	パーソナルカラーとの違いを認識し、タイプを分析。 コミュニケーションのあり方を理解する。	(復習)日常生活の中で学んだ事を意識して会話する。 (予習)パーソナルカラーについて調べる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	心理カラー診断/応用 コミュニケーションの取り方	講義・演習・グループワーク 発声・立ち居振る舞い・お辞儀レッスン 文章回答により、フィードバックを行う。	前回学んだことを応用し、実際の生活の場を想定し、練習問題に取り組む。	(復習)日常生活の中で学んだことを意識して会話する。 (予習)タイプ別カラーを纏めたものを生活の場で想定してみる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	コミュニケーション チェックシート  コミュニケーションを円滑にする言葉遣い ★実際に学外での講座に参加をし、社会でのコミュニケーションの取り方を学ぶ	講義・演習 授業終了時に授業内容についてまとめを行う。 発声・立ち居振る舞い・お辞儀レッスン 文章回答により、フィードバックを行う。	コミュニケーションチェックシートで自身のコミュニケーション能力をチェックする。 また、コミュニケーションを円滑にする言葉遣いを身に付ける。 ★校外の人とのコミュニケーションがとれている。	(復習)チェックシートで足りない項目を意識して、日々改善に努める。 (予習)今までの授業の内容をチェックしてコミュニケーションを考えてみる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	礼節を感じるコミュニケーションの在り方 敬語表現 プレゼンテーション	講義・演習・プレゼン 授業終了時に授業内容についてまとめを行う。 発声・立ち居振る舞い・お辞儀レッスン 文章回答により、フィードバックを行う。	尊敬語・謙譲語・丁寧語を理解して使うことができる。	(復習)講義で学んだ敬語を自分のものとなるよう反復実践。 (予習)敬語についてのある程度の予備知識をつけておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	素質論 基本	講義・演習 授業終了時に授業内容についてまとめを行う。 講義の趣旨の説明 発声・立ち居振る舞い・お辞儀レッスン 不明点はフィードバックを行う。	人のタイプを考え、タイプ別に話し方を変える工夫をすることの理解ができる。	(復習)タイプ別の話し方は何かを考え、日々の生活で応用させる。  (予習)素質論についての予備知識をつけておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	素質論 応用	講義・演習・グループワーク 授業終了時に授業内容についてまとめを行う。 発声・立ち居振る舞い・お辞儀レッスン 文章回答により、フィードバックを行う。	ワークを行い、タイプ別に話し方を変えるパターンで話ができる。	(復習)タイプ別の話し方を生活で実践する。そのためにはその人を観察すること。 (予習)前回の内容を自分なりに纏めて授業内容での質問に答えることができるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	傾聴とは知識 *プレゼンテーション	講義・演習・グループワーク プレゼンテーション 授業終了時に授業内容についてまとめを行う。 発声・立ち居振る舞い・お辞儀レッスン 文章回答により、フィードバックを行う。	「聴く」ことの重要性を説明することができる。	(復習)傾聴を意識して日々を送り、以前との変化を感じてみる。 (予習)家族や友人の話を真剣に聴いた時の、相手の様子を観察してくる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	傾聴とは傾聴力をつけるワーク *プレゼンテーション	講義・演習・グループワーク 授業終了時に授業内容についてまとめを行う。 *開始直後に小テスト 発声・立ち居振る舞い・お辞儀レッスン 文章回答により、フィードバックを行う。	真剣に相手の話を「聴く」ことができる。感情的にならないことが大切だと理解する。	(復習)日常生活で話し手の意図を理解するように心がける。 (予習)家族や友人の話をじっくり聞いた後に、話し手の感想を聞いてくる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	NLP コミュニケーションを視覚・聴覚・体感で捉える知識 *プレゼンテーション リハ	講義・演習・グループワーク・プレゼン 授業終了時に授業内容についてまとめを行う。 発声・立ち居振る舞い・お辞儀レッスン 文章回答により、フィードバックを行う。	視覚・聴覚・体感でコミュニケーションを捉えることができ、相手に理解できやすいようにアプローチする方法がわかる。	(復習)授業でならったことを生活で実践する。 (予習)視覚・聴覚・体感の意味を調べ、コミュニケーションとの関連性を考えてくる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	NLP コミュニケーションを視覚・聴覚・体感で捉える 応用 *プレゼンテーション リハ	講義・演習 授業終了時に授業内容についてまとめを行う。 発声・立ち居振る舞い・お辞儀レッスン 文章回答により、フィードバックを行う。	視覚・聴覚・体感でコミュニケーションを捉えることができ、相手に理解できやすいようにアプローチする方法がわかる。	(復習)授業でならったことを生活の中で実践する。 (予習)前回の纏めを日々のコミュニケーション時に行っているかを考えてくる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	プレゼンテーションテスト ★学外参加講座において「社会で行われているコミュニケーションについて」	講義・演習 授業終了時に授業内容についてまとめを行う。 発声・立ち居振る舞い・お辞儀レッスン プレゼンテーション最終チェック。 授業終了時に授業内容についてまとめを行います。	プレゼンテーションテストを行い、今までの授業の内容を実際に行うことができる。	(復習)度々のプレゼンテーションにより、コミュニケーションの在り方、特に面接に必要な発信する力がつけたかを内省する。授業での取り組みを意識しながら客観視する余裕を持ち合わせ、コミュニケーションを深めていく。 (予習)授業で行ったプレゼンテーションの練習をする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	総括 ・今まで学んで考えてきた内容を振り返る。「コミュニケーションについて」 好感の持てるメイク実践	講義・演習・個人ワーク 発声・立ち居振る舞い・お辞儀レッスン。 プレゼンテーション最終チェック。 全授業について総括し理解できなかった事についてフィードバックを行う。	今まで学んで考えてきた内容をふまえ、面接時に力を発揮できる。 社会人として働く自分を想像し、理想像を考えられる。 コミュニケーションを生活の中で活用できる。  社会人メイクが手持ちのメイクセットでできる。	(復習)実際の就活時や社会人となる心構えを持ち、コミュニケーションを総合的に捉える。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力